



住宅リフォーム助成は打ち切り。大企業には大盤振る舞い 市内雇用8人のサカタインクス(株)に約9千万円の助成

3月1日会派代表質問として、日本共産党米原市議団は清水隆徳議員が、10点について質問を行いました。当局の答弁の概要です。それぞれ再質問を行っており、詳細は米原市ホームページから議会の配信映像をご覧ください。

Q、防衛省より自衛隊募集の目的で高校生の名簿や特殊技能者の問い合わせは

A、自衛隊滋賀地域協力本部から、住民基本台帳法に基づき、法令に定める事務に当たるとして自衛官募集を目的とする18歳を対象とした閲覧請求はある。特殊な技術の持ち主など個別の特定の問合せはない。

Q、消費税の「軽減税率」導入で中小零細業者の支援策は

A、消費税率の改定に伴う仕入資金や納税資金の増額により小規模事業者の経営を圧迫しないよう、小口簡易資金貸付制度や小規模事業者経営改善資金などの制度融資を活用して安定経営に向けた支援に取り組む。

Q、危険極まりない原発を再稼働されるに当たりどんな行動をしたのか

A、昨年の6月には、米原市をはじめ、京丹後市、与謝野町、大津市および彦根市の4市1町が共同で原子力規制庁や原子力規制委員会に対しまして、指針の見直し要望を行った。さらにこの2月には、ほたるサミット関係市との間の応援協定に基づき、岡山東真庭市に出向き、避難者受入れ協議や受入施設の視察などを行った。

2月20日に発生した高浜原発4号機の水漏れ事故においては、関西電力から県へ、県から本市にも情報提供がされたが迅速な情報伝達体制での課題があると考えている。モックス燃料はその特性から更なる危険性の高まりが危惧されることから、国に対して、使用済燃料の処理方針の決定や安全への対策について要望をしていく必要がある。

Q、市庁舎と、宿場町構想が一体的に進めば、町のにぎわいが生まれると言っている展望は

A、米原駅東口の統合庁舎建設は、本市のまちづくりの核を明らかにし、都市機能を更に強化させ、駅東口周辺に配置される商業や住居などの様々な機能と、庁舎、駅が統合機能の発揮により相乗効果が生まれる。更に、広域都市拠点の形成を図り、新幹線駅に連坦する中心市街地が、その地方の特色ある地域性や歴史的背景、文化に触れられる新たな賑わい市街地となつて、交通結節点の利便性ととも、関西、東海、北陸、そして首都圏とのつながりを増し、確固たる位置を示すことになる。

Q、米原駅西口イベント広場の利用について

A、曳山祭りのほかに市民活動の発表の場や大学の研究活動、啓発活動等に利用されています。今後とも人が行き交う駅前で、人との交流や情報発信ができる広場として、観光PRやイベント

ト、更には、ビワイチの出発点として活用するなど、幅広く利用促進していきたい。

Q、旧米原小学校を、の払い下げについて

A、「米原市公共施設再編計画」で、平成28年度以降に解体する計画でした。策定には、パブリックコメントを実施して、意見を伺った上で、市の方針として決定した。米原区に対しては平成26年12月に市の意向を伝え、地元協議をした上で、合意形成を図った。大樹会への払下げ予定の土地面積については、3,919平方メートルで、解体費用も含めた坪単価については、約48,000円となる。

Q、サカタインクスの市内の従業員の人数は

A、サカタインクスの現在の全従業員数は32人で、市内従業員は8人です。内訳は、正規従業員が5人、非正規・パートは3人。

※サカタインクスの2016年度予算
大規模企業立地促進助成金 5千万円
工場等設置・雇用促進奨励金 3千9百万円

Q、人権総合センター等の自治会移管は

A、人権総合センターおよび息郷地域総合センターについては、施設の役割や指定管理期間を踏まえた上で、審議会を中心に議論を深め判断をする。和ふれあいセンターは、この4月から指定管理期間満了後、円滑に自治会に譲渡が図れるよう取組む。また施設の維持管理には相当の経費を要するので、補助などの支援策について丁寧に協議を行う。

Q、住宅リフォーム助成事業の今年から打ち切りについて

A、平成25年度から3か年の計画で実施してきた。3年間で約360件のリフォームが行われ、工事費総額としては約8億2000万円の工事が事業者が発注されたことになり、多くの事業成果を得ることができた。助成期間を3年間に限定することで集中的に、市民や工事を請け負う市内事業者に効果が及ぶことを狙いとしてきた。今後は、景気動向も踏まえ、市内事業者への支援策として検討をしていきたい。

Q、孤独死について

A、地域では、自治会や民生委員児童委員が、訪問や声掛けを行っています。また、新聞業者の協定や配食サービス事業者による配達時の声掛けも行ってはいる。身近な地域で、回覧板の回し方を工夫したり、元気であることの合図を決めたりと工夫も必要ですし、何より、希薄となった地域の付き合い合い方を一人一人が考える事が必要だと思ふ。

雑感 先週号で誤記を指摘した電話がありました。自衛隊募集質問で「名簿提出等の要求はありません。」で最後に「か」が抜け落ちていました。もう一つは原発の質問で「このよ」に危険極まりないは「う」の誤りです。しっかりと読んでいただいで有難うございます。今回も文字ばかりで申し訳ありません。